

介護施設職員にPCR

やるじゃん!



検査を実施!

社会的検査をいまこそ!
県の動きまちにならず、
市町村から積極的に実施を!

東海市

高齢者施設におけるクラスター対策が大きな課題だとして、高齢者対象のワクチン接種が始まるまでの間、重篤化しやすい高齢者の生活の拠点を守り、医療崩壊にもつながるクラスターの発生を防ぎ、感染防止対策の更なる徹底を図るため、市内の介護施設等のうち入所施設(25か所)に勤務する職員約700人を対象に、この2月及び3月にPCR検査を一か月に一度実施すると決定しました。

3210万円の補正予算を2月4日に専決処分しました。財源は地方創生臨時交付金を活用します。

党の論戦と運動が変化をつくる 12月議会では近藤議員が、社会的検査の必要性を訴え、医療や介護従事者に定期的にPCR検査をするべきではないか?と質問しました。

しかし市当局は「介護職員への定期的な検査はクラスター発生地域などで実施するものだがその判断と実施は県が行うものであり、市単独では考えていない」と答えていたのです。

緊急事態宣言が延長されるもと、市当局が態度を改めました。党の論戦がまた一つ実りましたね。

厚生労働省からは1月22日にあらためて社会的検査の必要性が都道府県等に通知されました。本村伸子議員らによる働きかけもあり、ようやく愛知県も感染症多発地域の高齢者施設の従事者等の検討に入りました。もう一歩です。

自治体からも社会的検査を!

予算議会でも引き続き、粘り強く、取り上げていきましょう。



愛西市水道料金減免延長

小中学校の給食無料化を今年度末の3月まで延長することを決めましたが、このたび水道料金の基本料金免除についても今年度末まで2か月間延長することを決定しました。12月議会では延長に否定的な答弁でしたが、ここでも態度が変わりました。

介護保険 保険料改定と基金活用めぐり攻防

第8期介護保険事業計画の策定作業が各自治体で進められています。基金の活用が焦点の一つです。

春日井市では、一月あたり17円の値上げが市議会厚生委員会に提示されました。介護保険会計には30億円!もの基金がありますが第8期では24億5000万円の活用にとどまっています。5億円以上も残す必要はありません。しっかり活用すれば、値上げどころか値下げも可能です。

長久手市では3億円の基金のうち2億円を取り崩しますが、1億円は一月分の給付費相当分として残します。



それでも保険料は10円ほどの値下げ予定です。

愛西市では、基金残高が4億6998万円、一号被保険者一人当約2万4200円にも。当局は、8期の保険料に基金の活用も考えるが、9期も10期も配慮して考えたいと答弁。保険料多段階化については試算・検討していると前向きに答えています。

税収減予測理由の福祉削減許すな! 財源はあります

議会と自治体2月号の自治体局論文を活動の指針に!基本的にコロナ禍による地方税収減への補填措置がとられています。コロナ施策の執行状況を点検し基金の年度末残高の見込みをつかみ、第3次の地方創生臨時交付金(単独事業分で1兆円)の活用も視野に、財政問題でも積極的な論戦を!

議員団会議をオンラインで 尾南

3日、尾南地区議員団会議を4会場に分散して開催。曾我部稲沢市議がデジタル化問題、山口(県自治体部)が予算の特徴と議会の課題を報告し交流。

